

# 平成26年度教育委員会臨時会会議録

【日時】 平成26年10月23日(木)

【開会】 13時30分

【閉会】 13時50分

【場所】 教育文化会館 第5会議室

## 【出席委員】

委員長 峪 正人

委員 中本 賢

教育長 渡邊 直美

委員 高橋 陽子

委員 濱谷 由美子

## 【欠席委員】

委員 吉崎 静夫

## 【出席職員】

総務部長 原田

教育環境整備推進室長 丹野

職員部長 高梨

学校教育部長 芹澤

中学校給食推進室長 望月

総合教育センター所長 江間

庶務課長 小椋

企画課長 野本

庶務課担当課長 田中

指導課長 渡辺

担当係長 外山

書記 齋藤

## 【署名人】

委員 濱谷 由美子

委員 高橋 陽子

## 1 開会宣言

【峪委員長】

ただいまから教育委員会臨時会を開会いたします。

本日は、吉崎委員が所用により欠席でございますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第2項に定める定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

## 2 開催時間

【峪委員長】

本日の会期は、13時30分から14時30分までといたします。

## 3 会議録の承認

【峪委員長】

7月の定例会の会議録を、事前にお配りし、お目通しいただいていることと思いますが、承認してよろしいでしょうか。

【各委員】

<了承>

【峪委員長】

なお、修正等がございましたら、後ほど事務局までお申し出ください。

## 4 傍聴

【峪委員長】

本日は傍聴の申し出がありません。

以後、会議中に傍聴の申し出がございましたら、川崎市教育委員会会議規則第13条により、許可することに異議はございませんでしょうか。

【各委員】

<了承>

【峪委員長】

それでは、そのように決定いたします。

## 5 署名人

### 【峪委員長】

本日の会議録署名人は、「川崎市教育委員会会議規則第15条」により、濱谷委員と高橋委員をお願いいたします。

## 6 報告事項

報告事項 No. 1 請願第13号（拙速な中学校完全給食実施方針決定を延期し、市民意見を真摯に聞き、方針検討をすすめることを求める請願）の報告について

### 【峪委員長】

庶務課担当課長 お願いいたします。

### 【庶務課担当課長】

教育委員会あての請願を受け付けましたので御報告いたします。はじめに、書記より読み上げさせていただきます。

ー請願第13号読上げー

本日の教育委員会では、請願の取り扱いについて御協議いただきたいと存じます。

また、請願者より意見陳述を希望する旨の申し出がございましたので、意見陳述の可否について、また認める場合には何分ほどにするか、審議いただきたいと思います。

### 【峪委員長】

ただ今報告のありました請願第13号の取り扱いにつきましては、今後審議していくというところでよろしいでしょうか。

### 【各委員】

<了承>

### 【峪委員長】

また請願の意見陳述についてでございますが、これを認めて、その時間については10分程度ということはいかがでしょうか。

【各委員】

<了承>

【峪委員長】

それでは、そのように決定させていただきます。

## 7 議事事項

### 議案第46号 平成27年度川崎市立高等学校入学定員について

【峪委員長】

指導課長 お願いいたします。

【指導課長】

議案第46号「平成27年度川崎市立高等学校入学定員」について、ご説明申し上げます。

すでに「平成27年度川崎市立高等学校の入学者の募集及び選抜要項」につきましては、4月の教育委員会定例会におきましてご承認をいただいております。今回は「平成27年度川崎市立高等学校の入学定員（案）」についてお諮りするものでございます。

まず議題のご説明に入る前に、前年度に行われました平成26年度入学選抜の結果についてご説明をしたいと思います。

それでは、2ページの「資料1」をご覧ください。はじめに「1. 県内公立中学校卒業者の全日制への進学率」についてご説明いたします。平成26年3月の県内公立中学校卒業者数は、ここ10年間の推移のなかで最もピークとなる年となり、70,571人で行われました。このうち43,379人が公立高校全日制へ進学しており、その進学率は61.5%となり、前年比で0.4ポイントの増という結果となりました。県内の私立高校に進学した者は、13,479人、県外の私立高校や転居等により県外高校へ進学した者は、6,080人となりました。その結果、全体における全日制進学者数は62,938人となり、県内における全日制進学率は89.2%で、前年比で0.4ポイント増加して全日制進学率の向上がみられました。

次に、「2. 平成26年度 川崎市立高等学校 入学選抜結果」をご覧ください。まず、全日制についてでございますが、市立の全ての学校・学科において募集定員以上の受検者があり、二次募集を行うことはございませんでした。つぎに定時制についてでございますが、平成26年度入学選抜においては、「川崎高校の普通科昼間部」と「川崎総合科学高校のクリエイト工学科」は、「川崎市立高等学校再編計画」に基づき、はじめての募集となりました。平成26年度入学選抜における各校の志願状況は表の通りとなっており、川崎高校・川崎総合科学高校・高津高校においては、募集定員に満たなかったことによる二次募集を実施いたしました。

次に、平成 27 年度の入学定員の策定方法についてご説明いたします。3 ページの「資料 2」をご覧ください。県内の公立高等学校の入学定員計画につきましては、公立・私立高等学校の設置者及び代表者で構成される、「神奈川県公立高等学校設置者会議」において策定しております。本資料は、本年 9 月 8 日に行われた「第 2 回神奈川県公立高等学校設置者会議」にて配布された資料の抜粋でございます。

まず、「1 基本的な考え方」でございますが、公私が協調することにより、入学定員計画を検討、協議することとしております。次に、具体的な策定方法についてですが、4 ページ「2 定員計画の策定 (1) 平成 27 年度の定員計画の方式」の 2 つ目にあるように、「平成 27 年度の定員計画は、これまでの経緯を勘案し、かつ、昨年度の定員計画により全日進学率が向上した成果を踏まえ、引き続き、公私各々が自らの責任において実現を目指す定員目標を設定する方式により策定する」と致しました。その結果を踏まえて策定された平成 27 年度の定員計画でございますが、5 ページ、枠内の 3 つ目にある通り、「公立の目標設定にあたっては、公立中学校卒業予定者の動向及び定時制における課題の解消に対応できるよう定員枠を確保することとし、県内公立中学校卒業予定者のうち 42,900 人程度を入学定員の目標とする」としたところでございます。なお、42,900 人という数値の算出方法についてでございますが、6 ページの「1 入学者定員目標数の算出方法」をご覧ください。定員数の算出にあたっては、公立中学校卒業予定者数の動向を捉えるという視点から、昨年度の入学定員目標であった 43,200 人に対して、中学校卒業予定者数の比率である 98.8%を乗じて 42,681 人を算出し、これに経済的理由等で不本意入学となる生徒を解消する分として 246 人を上乗せして、42,900 人程度としたところでございます。

それでは、1 ページの議案書「平成 27 年度川崎市立高等学校入学定員 (案)」にお戻りください。まず、「1 全日制課程」の入学定員でございます。昨年度新たに 1 学級増で募集した高津高校を、今年度も引き続き 7 学級での募集と致します。その主な理由としては、様々な生徒のニーズに応えるための特色ある高等学校づくりや魅力あるカリキュラムの作成には、中長期的に安定した学級数が望ましいことなどが挙げられます。したがって、全日制全体での募集学級数は、5 校 12 学科で合計 32 学級、入学定員は 1 学級 40 人とし、合計 1280 人の定員といたします。

次に、「2 定時制課程」の入学定員についてでございますが、募集学級数は、5 校 3 学科の合計で 11 学級といたします。なお、入学定員につきましては、課題を持つ生徒が多い中、きめの細やかな指導を実施するため、昨年同様 1 学級定員を 35 人とし、5 校の入学定員を合計で 385 人といたします。

なお、本議案の承認をいただきましたら、今後、本市、神奈川県、横浜市及び横須賀市が、それぞれの募集定員について制定した結果を、今月中に合同で記者発表をする予定でございます。

以上、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

**【峪委員長】**

ご質問等がございますか。なければ原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

**【各委員】**

<可決>

**【峪委員長】**

それでは原案のとおり可決いたします。

## **7 閉会宣言**

**【峪委員長】**

本日の会議はこれもちまして終了いたします。